

2023年度正野賞候補者の推薦募集

正野賞は、原則として当該年の4月1日時点で40歳以下の者で、気象学または気象技術に関し優れた研究をなした者を顕彰するものです。原則として毎年2名選出いたします。2022年3月に、後述するように規定が改訂され、2023年度以降について、表彰時期が当該年度の秋から春に変更されました。これにともない、推薦期限を前年度の末から10月に変更します。今回は、2022年度の表彰の募集から半年での募集となります。積極的なご推薦を期待します。

正野賞のこれまでの規定では、主に前5か年間の気象集誌その他の学術雑誌に発表された論文を審査することになっていましたが、改定により原則として前10か年間に改まりました。年齢制限があること以外は、より上位の賞である学会賞と基準が共通になりましたので、正野賞の候補者として推薦された方のうち1名を上限として、当委員会から学会賞候補者推薦委員会に推薦することがあります（その結果、正野賞ではなく学会賞受賞者として表彰される可能性があります）ので、ご承知おき下さい。

つきましては、この趣旨に沿う候補者を選考するために、下記により広く会員からの推薦（自薦も歓迎）を募りますのでご協力をお願い申し上げます。なお、2022年度の推薦受付候補者で受賞の対象とならなかった候補者も要件をみれば2023年度の候補者といたしますが、必要に応じ論文リストなど推薦書類を改訂して再度推薦いただいても構いません。なお、審査においてはライフイベントに伴う個別の事情にも配慮します。ご不明の点はお問い合わせください。

正野賞候補者推薦委員会では、会員からの推薦ならびに委員会独自の調査を基に受賞候補者を選定して理事長に報告いたします。

これまでの受賞者は

- '14年度：塩竈秀夫（国立環境研究所）
松井仁志（海洋研究開発機構）
- '15年度：山口宗彦（気象研究所）
吉田幸生（国立環境研究所）
- '16年度：宮崎雄三（北海道大学）
松枝末遠（筑波大学）
- '17年度：小坂 優（東京大学先端科学技術センター）
國井 勝（気象庁予報部数値予報課）
- '18年度：近本喜光（ユタ州立大学）

中山智喜（長崎大学）

'19年度：今田由紀子（気象研究所）

佐藤陽祐（北海道大学）

'20年度：梅澤 拓（国立環境研究所）

川瀬宏明（気象研究所）

'21年度：伊藤純至（東北大学）

宮本佳明（慶應義塾大学）

の16氏です。また2022年度の受賞者については選考中です。詳細は、学会のホームページをご覧ください。
(<https://www.metsoc.jp>→気象学会の表彰→正野賞)

日本気象学会 正野賞候補者推薦委員会

堀之内 武（委員長）、今田由紀子、

日下博幸、高谷康太郎、町田敏暢

記

1. 推薦期限 2022年10月3日（月）

2. 宛先

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-6-9 気象庁内

（公社）日本気象学会

正野賞候補者推薦委員会

注：推薦書類は電子メールでお送り下さい。宛先は下記の通りです。数日以内に受領確認のメールを差し上げます。

award@metsoc.jp

3. 用紙 A4横書き

4. 推薦書記入事項

- (1) 推薦する業績
- (2) 受賞候補者氏名（ふりがな付）および生年月日
- (3) 受賞候補者の所属
- (4) 推薦理由（関連する主要論文は(6)の論文リストから引用）
- (5) 前10か年間の主要論文5編の別刷り（PDF）
- (6) これまで国際誌に掲載されたすべての論文リストとそれぞれの論文の被引用回数（受賞候補者が主著者である論文とそれ以外に分ける。また被引用回数については用いたデータベースも明記する）
- (7) 推薦者の氏名および連絡先